

Gōkan: (No. 014)  
Jidai Kagami.  
Part 3. Book 21--30.

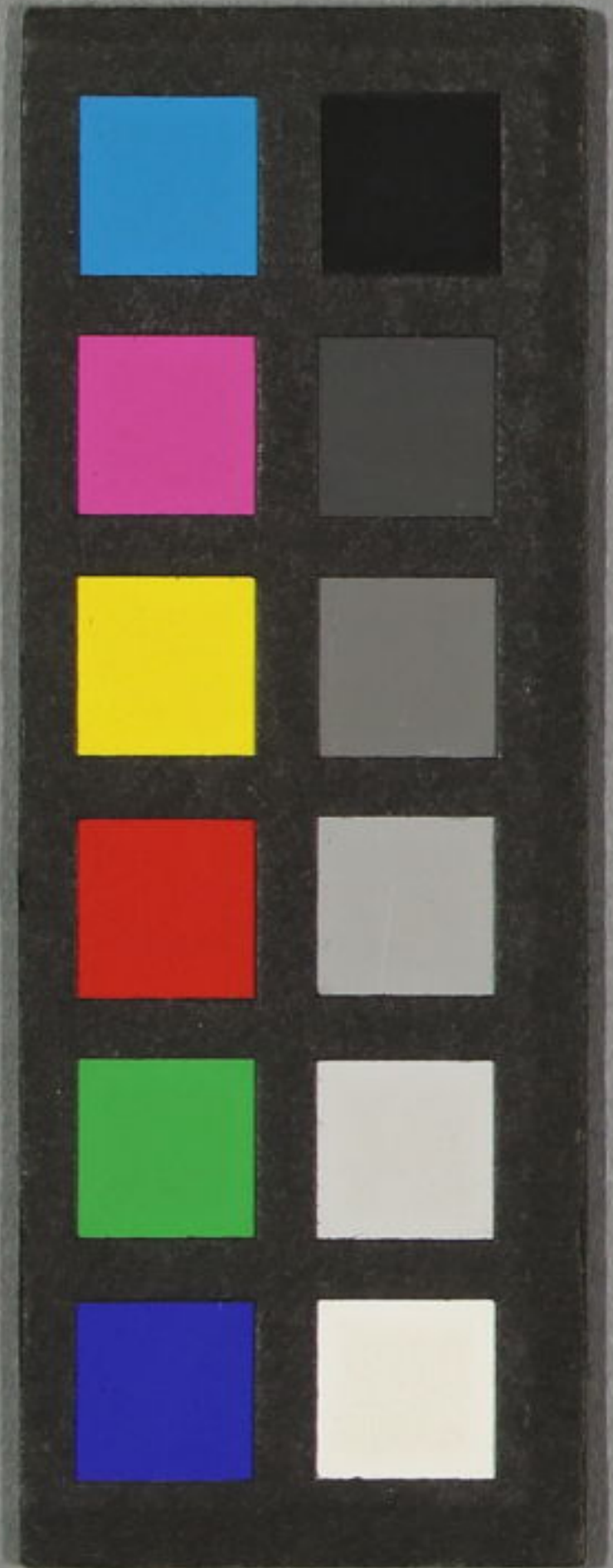
北雪  
美談  
時代加賀見

外題  
加賀見

廿一編上



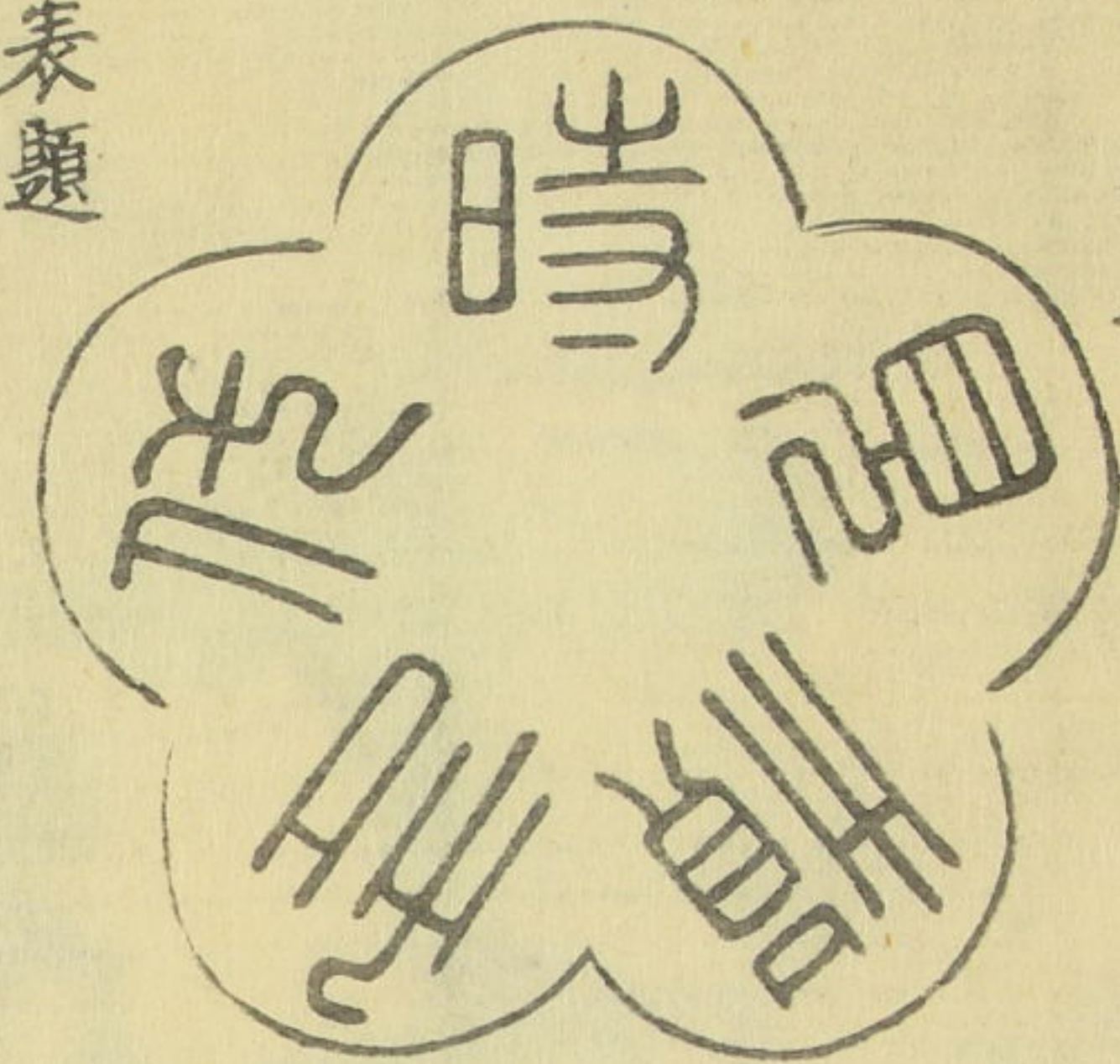
~ 13  
3740  
41



門へ13  
読 3740  
巻 41

草木雜様

表題

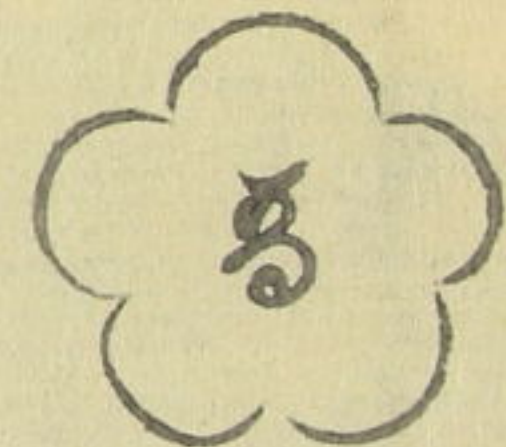
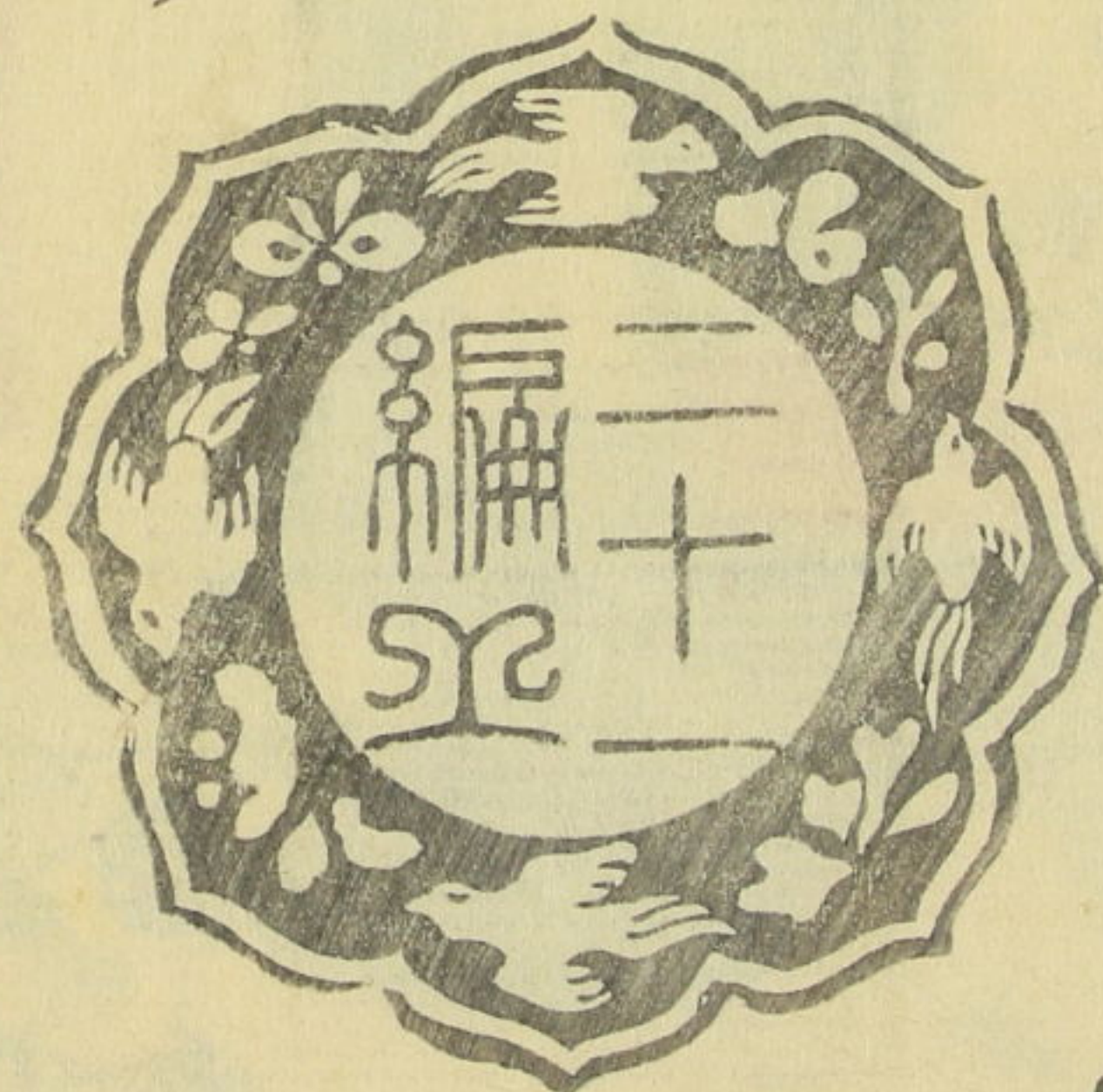


若林 印存

飛鴻堂

鏡形

画作



梅花道人  
消息

秋 閑

申

七夕の短冊も五日の甲夜うら竹小結び月見の團子も夜明ぬ  
うらいに物成速も残昔も初春も出と合巻も  
秋はうらうらと賣出の魁をあら急ぐ残もつづきの  
書賣の催後の世よりからぬわゆるさる小就中あは  
時代加賀見の初編より一々毎歳一五六帙の編あ  
いし豫の需えあうける残去稔も僕も繁多く筆を  
採り日の稀かきバ總くの著述皆かれの速莫今稔も  
そは報をと壁小馬を乗地小形ろく夜も残うけんのごら  
だう急案麓漏の罪ハ御免は

庚子早春吉且

為永春水記



寺七十一



見世吉

因果娘阿豆

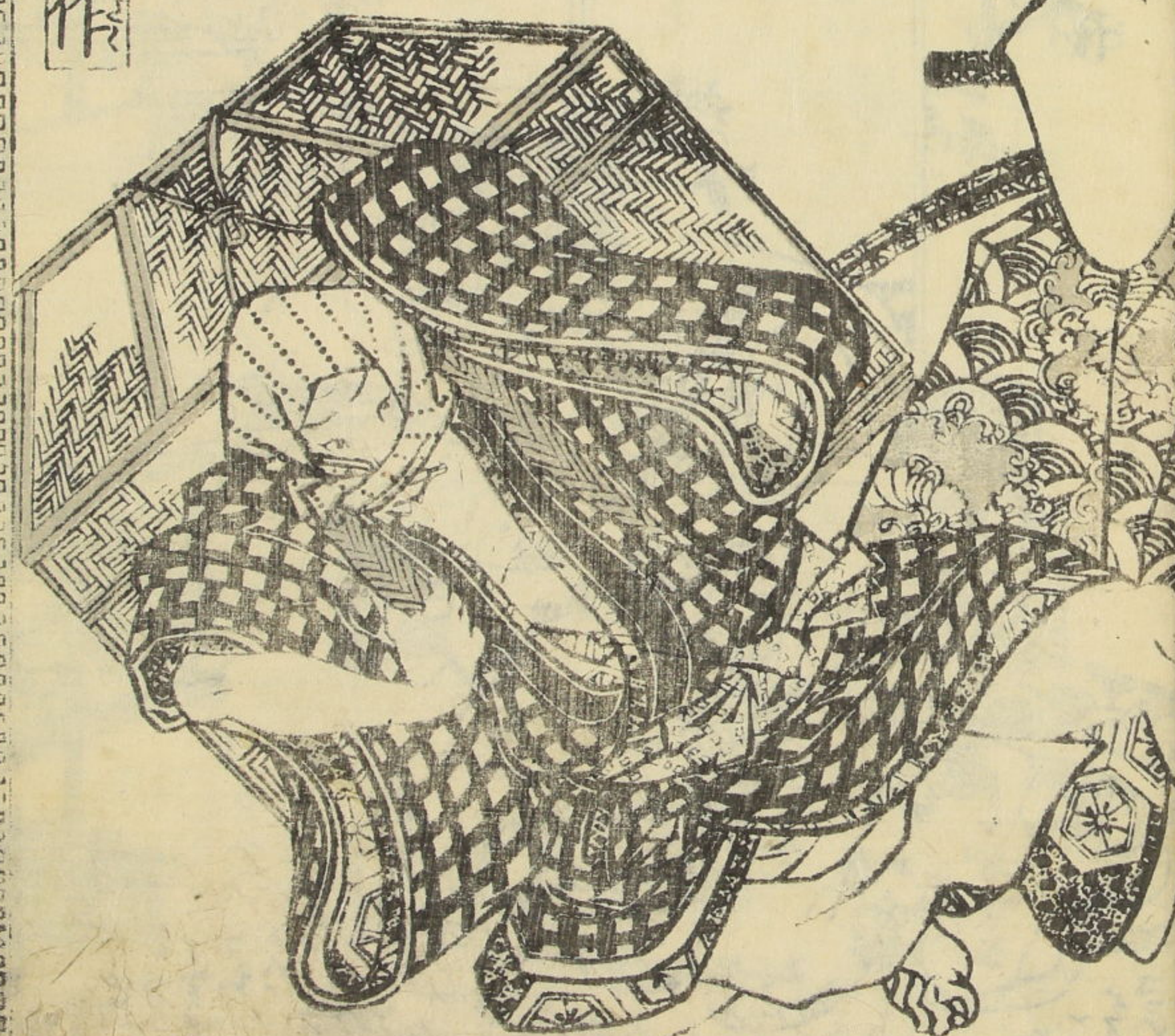
壯客加助



上无无上太

花作  
應所都

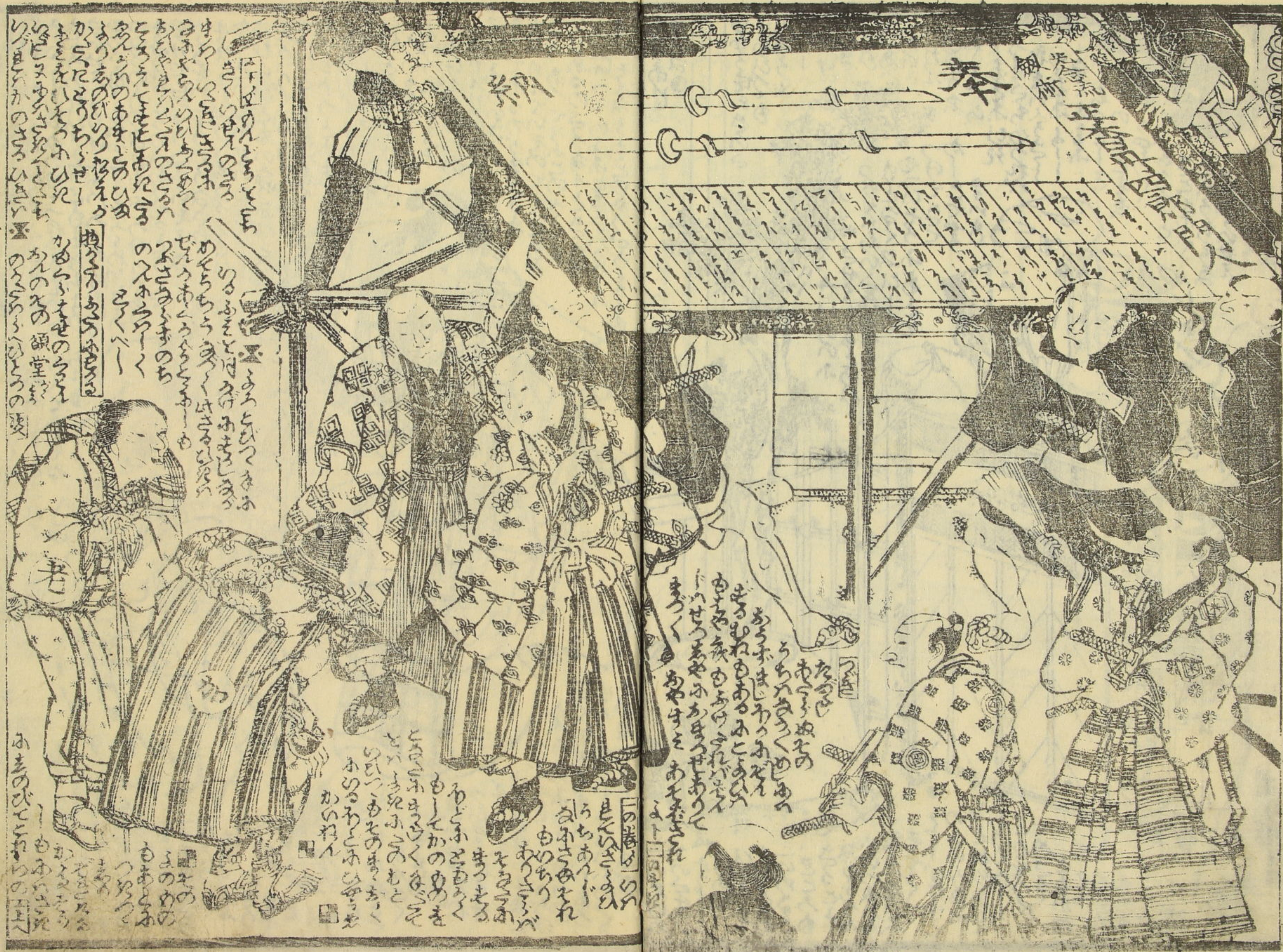
正香  
丹四郎



花作女房附十字







下段のいふこと  
 ありしは...  
 ありしは...  
 ありしは...  
 ありしは...

上段のいふこと  
 ありしは...  
 ありしは...  
 ありしは...  
 ありしは...

寺七十一

ハ

ありしは...  
 ありしは...  
 ありしは...  
 ありしは...

ありしは...  
 ありしは...  
 ありしは...  
 ありしは...

ありしは...  
 ありしは...  
 ありしは...  
 ありしは...







つまきあふま 左の二あまきりや  
 よあふまよ あれの  
 つまきあふま 左の二あまきりや  
 よあふまよ あれの  
 つまきあふま 左の二あまきりや  
 よあふまよ あれの

つまきあふま 左の二あまきりや  
 よあふまよ あれの  
 つまきあふま 左の二あまきりや  
 よあふまよ あれの  
 つまきあふま 左の二あまきりや  
 よあふまよ あれの



ついで今の  
むぐささ  
のあつと

どうやら  
ごひく  
きつら

あつとを  
あつとを  
あつとを

あつとを  
あつとを  
あつとを

あつとを  
あつとを  
あつとを

あつとを  
あつとを  
あつとを

あつとを  
あつとを  
あつとを

あつとを  
あつとを  
あつとを

あつとを  
あつとを  
あつとを

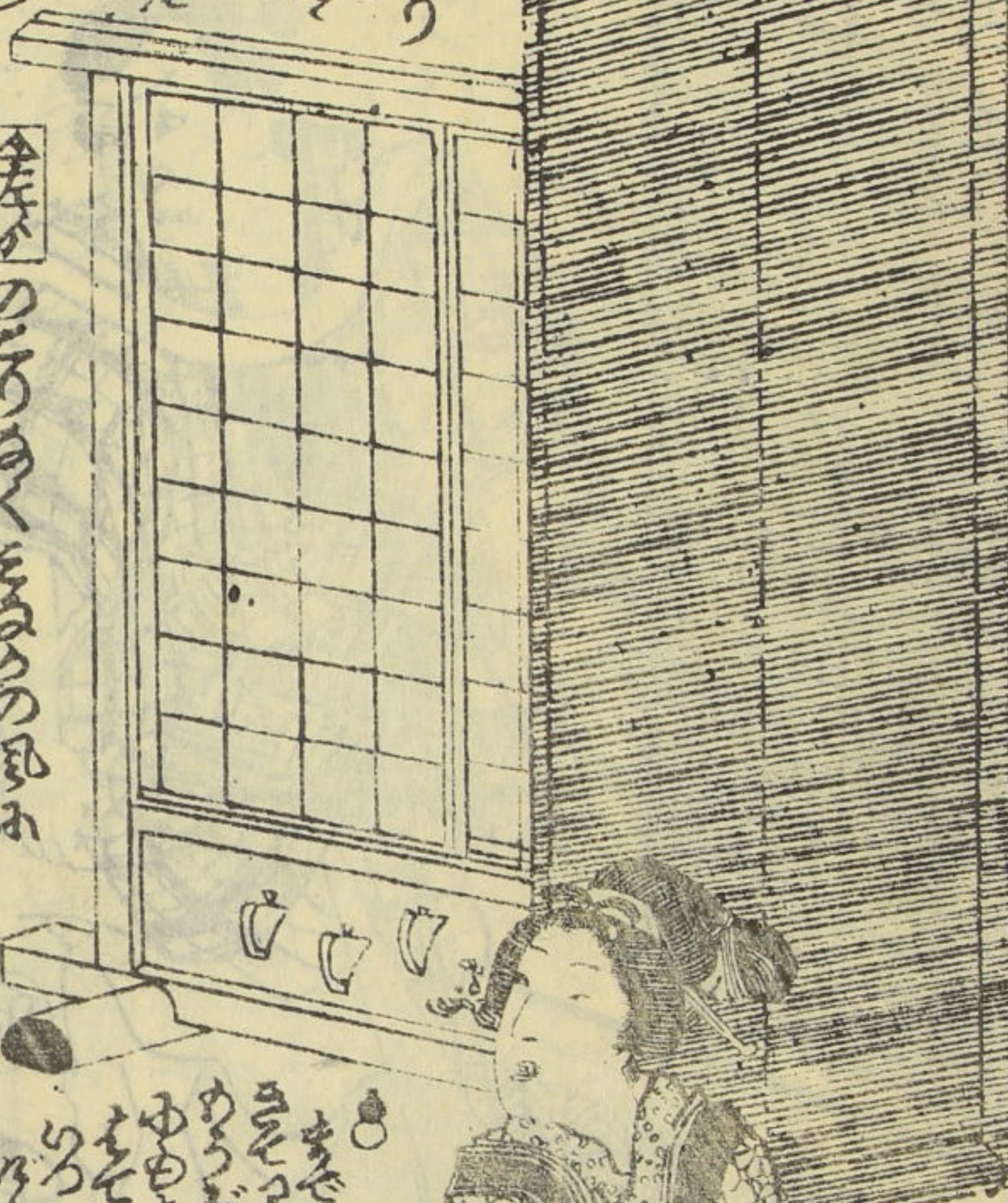
あつとを  
あつとを  
あつとを

あつとを  
あつとを  
あつとを

あつとを  
あつとを  
あつとを

あつとを  
あつとを  
あつとを

あつとを  
あつとを  
あつとを



あつとを  
あつとを  
あつとを  
あつとを  
あつとを  
あつとを  
あつとを  
あつとを  
あつとを  
あつとを



あつとを  
あつとを  
あつとを  
あつとを  
あつとを  
あつとを  
あつとを  
あつとを  
あつとを  
あつとを



